

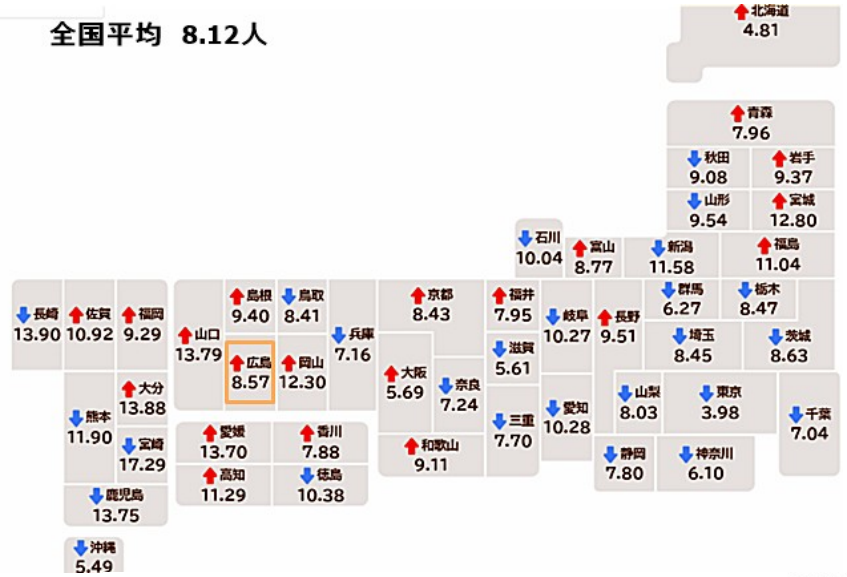
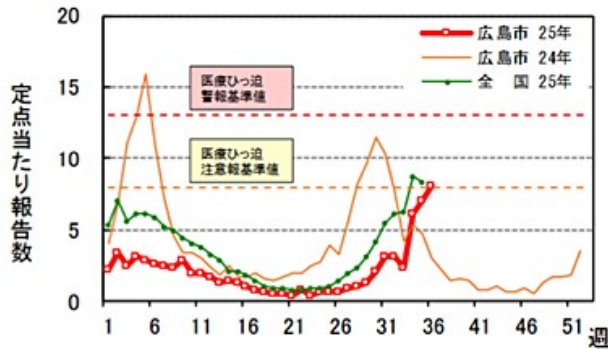
2025年第36週（9月1日～9月7日）

1 新型コロナウイルス感染症

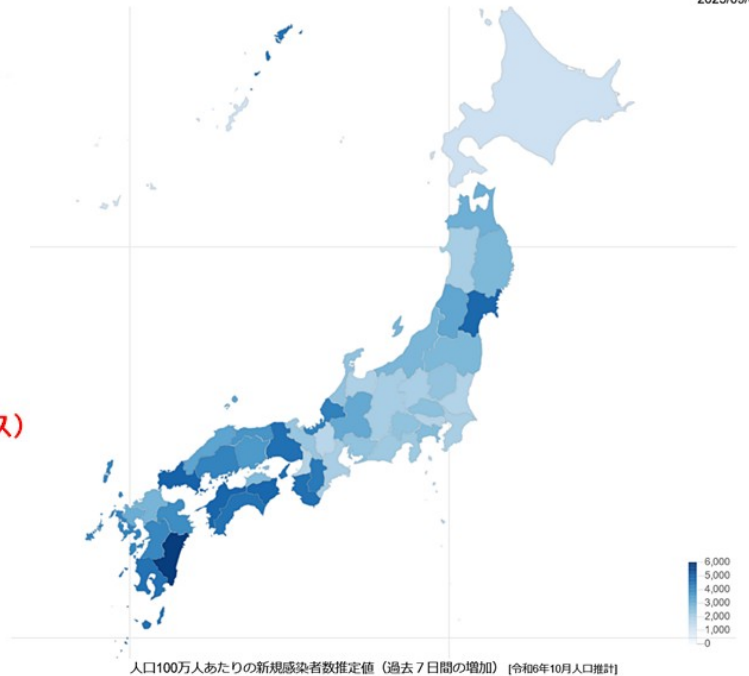
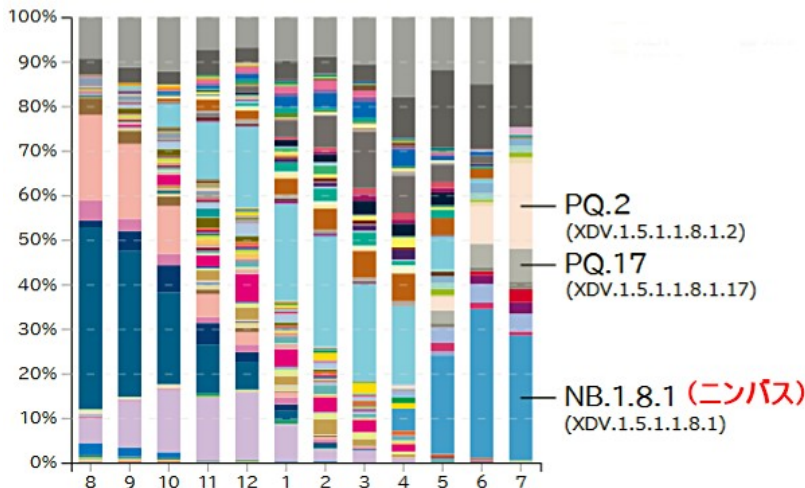
定点当たり8.14人と増加し、広島県が設定した新型コロナ医療ひっ迫注意報基準値（定点当たり8）を上回りました。

全国平均 8.12人

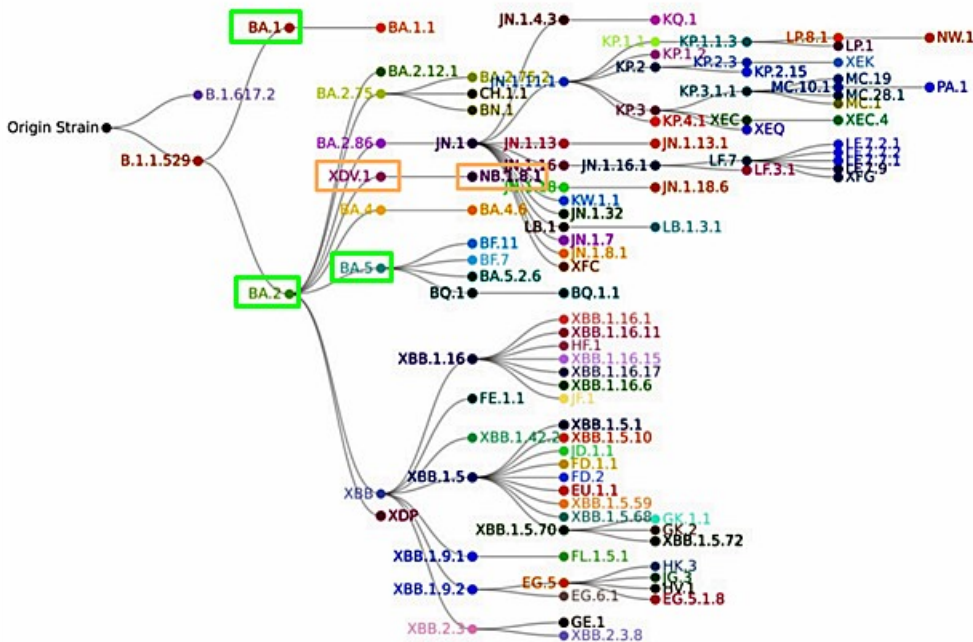
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



2025/09/07



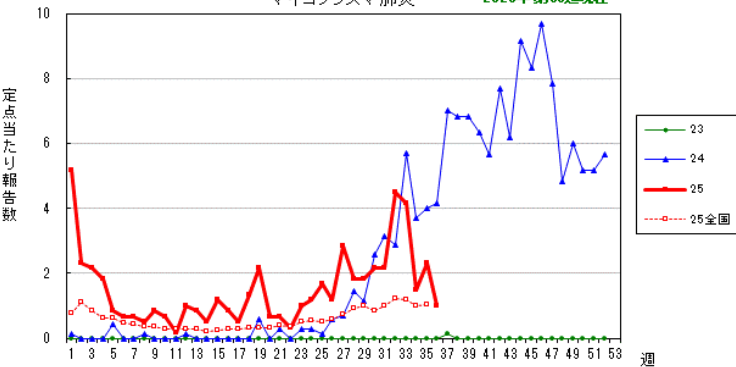
人口100万人あたりの新規感染者数推定値（過去7日間の増加） [令和6年10月人口推計]



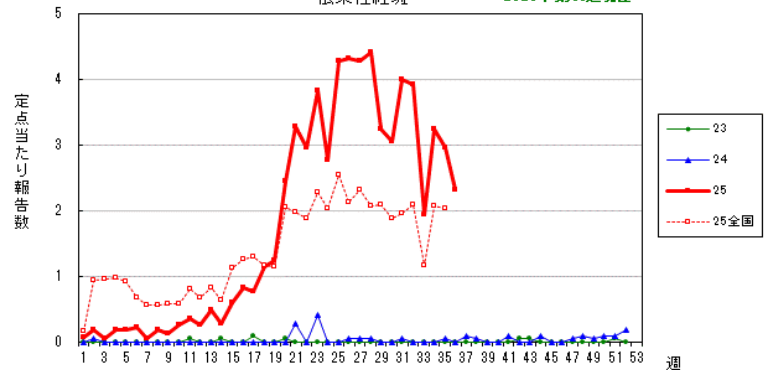
2. マイコプラズマ肺炎

第32週を境にして減少傾向となり、現在は全国平均値辺りを推移しています。

マイコプラズマ肺炎 2025年 第36週現在



伝染性紅斑 2025年 第36週現在

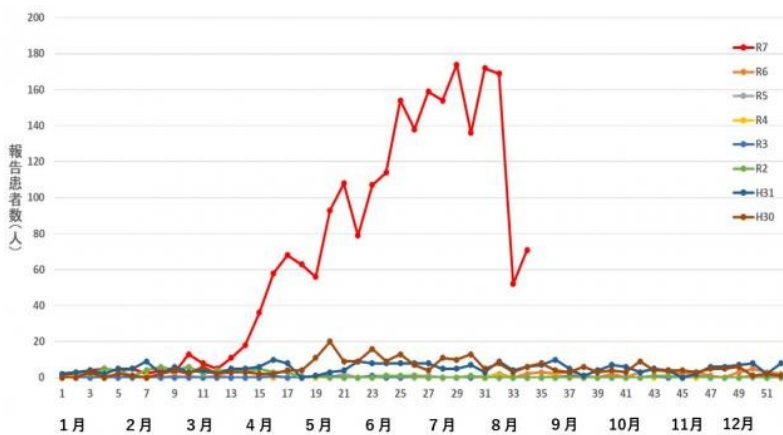


3. 伝染性紅斑

定点当たり 2.32 人の報告がありました。減少傾向ですが、多い状況が続いており、注意が必要です。妊婦が感染すると胎児水腫や流産を引き起こす可能性があるため、特に注意が必要です。

4. 百日咳

広島県の場合：百日咳の患者報告数は2018年1月1日に百日咳が5類全数把握疾患に指定されて以降最も多い状況ですが、減少傾向となっています。今しばらく注意が必要です。



(参照) 新型コロナウイルス変異株の推移 <https://soujinkai.or.jp/himawariNaiHifu/nimbus/>

ニンバスの系統樹と変異株の推移

変異株の推移

